

対象国の条件:

研修コース番号:201984716-J002

案件番号:201984716

主分野課題:農業開発/家畜衛生・畜産

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

途上国において農民に対して指導的立場にある技術指導者・普及員・獣医等を対象として、牛を中心とした家畜の飼養管理技術を習得させることにより、農民への技術普及を図る。地域資源の利活用による飼料資源の確保、乳生産の量的・質的改善や効率的な肉生産技術の向上により、主として酪農・畜産業で生計を立てている農家の収入増加を図り、貧困削減に貢献する。

目標/成果		対象組織/人材	
<p>【案件目標】 地域資源を活用した乳肉生産のための牛の飼養管理技術について指導的な役割を担う人材が育成される。</p> <p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 牛の繁殖生理の基本を理解し、1年1産を目標とした牛の繁殖管理について説明できる 2. 地域資源を利活用した飼料生産、乳および肉生産のための栄養管理、さらに環境要因と家畜生産との関連について説明できる 3. 乳房炎対策や乳の衛生管理など衛生的乳質改善について説明ができる 4. 乳用雄子牛や経産牛肥育を中心とした効率的な肉生産について説明ができる 5. 地域資源に基づいた持続的な乳肉生産のための、牛の飼養管理技術に関する普及計画を策定できる 		<p>【対象組織】 農業省、改良普及センター、大学等</p> <p>【対象人材】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 酪農分野の技術指導者、普及員、研究者および獣医（現場普及員もしくは専門技術員が望ましい） 2. 実務経験年数3年以上の者 3. 大学卒あるいは同等の学力を有する者 	
<p>内 容</p> <p>【事前活動】 「研修員が担当している地域の地理的条件(気象条件や土地の利用形態)、牛の飼養管理・乳肉生産の現状および課題」、また「所属組織での担当業務とその課題」を整理したインセプションレポートの作成</p> <p>【本邦活動】 以下の内容の講義、実習、視察、討議を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 繁殖管理(繁殖管理の基礎、人工授精、繁殖検診見学) 2. 飼料・栄養管理(飼料生産、地域未利用資源の飼料化、家畜の栄養状態診断、環境と家畜生産) 3. 乳生産技術の改善(乳房炎予防、生乳の衛生管理、乳製品加工場視察) 4. 肉生産技術の改善(乳用雄牛/廃用牛の肉利用、肉質評価) 5. 帰国後の具体的な普及計画を含むインテリムレポートの作成 <p>【事後活動】 帰国報告会の開催、本邦で策定した普及計画の組織内承認を得て、実施する。</p>		<p>本邦研修期間</p> <p>2019/9～2019/11</p>	
		<p>担当課題部</p> <p>農村開発部</p>	
		<p>所管国内機関</p> <p>JICA北海道(帯広)</p>	
		<p>関係省庁</p>	
		<p>実施年度</p> <p>2018～2020</p>	
<p>主要協力機関</p> <p>十勝インターナショナル協会、帯広畜産大学</p>			
<p>特記事項及びホームページ</p> <p>http://www.obihiro.ac.jp/index.html</p>			